

大正13年〜昭和9年頃 今津屋橋のたもと（吉井川北岸）

写真提供・塩山 剛さん（西今町）



吉井川北岸の今津屋橋のたもとにあった貸しボート屋の風景です。写真の今津屋橋は昭和9年に室戸台風の影響で流失しているもので、それ以前の写真と考えられます。

今津屋橋は江戸時代には「鍛冶場橋」と呼ばれており、現在より少し下流に架かっていました。安永8年（1779）、津山からの荷を高瀬船で運搬する蔵元として栄えた今津屋孫十郎が架橋を請け負い、店の前に橋を架けたことから今津屋橋の呼び名が生まれたといわれています。

写真の今津屋橋の上流に写っている建造物は、橋桁を漂流物から守るためのものと考えられます。文化6年（1809）頃の津山城下の風景と考えられる鉄形蕙斎筆「津山景観図屏風」には描かれていないので、近代になってから築かれたのでしょうか。

橋の上には自転車に乗っている男性の姿が見えます。大正15年刊行の『津山商工案内』によると、当時津山町全体で18軒の自転車屋がありました。自転車車がステータスシンボルだった明治時代から時を経て、津山にも普及していたことが分かります。室戸台風によって流失した今津屋橋は、3年後の昭和12年夏に鉄橋に架け替えられました。



現在の今津屋橋

このコーナーは歴史的
文化資産のデジタルアー
カイブ（古写真のデジ
タル化）事業の成果の中
から紹介しています

問い合わせ先

津山郷土博物館
☎22-4567

表紙について

七夕のお願い

7月7日、勝北風の子ども園

「あしがはやくなりますように」
「こまなしじてんしゃにのれます
ように」「家族が仲良く健康であ
りますように」。

わたしのお願い、お友だちの
お願い、みんなのお願いが
かないますように。

つ・ぶ・や・き

編集室



杉浦さんは最近真っ白な写真を撮っているそうで、11月に県立美術館で発表すること。4月のニューヨーク個展も大盛況で、10月中旬には京都でI氏賞受賞者作品展を開催。みんなに「今を大事に」「いろいろなことにチャレンジ」という思いが届くといいですね。（&）

七夕の取材で中央児童館へ。来場者に楽しんでもらおうという職員の方に感動しきり。厚意に甘えて短冊に「お願いごと」を書かせてもらいました。「さて、何を書こうか？」…。取材した戦争体験談が脳裏をよぎり「世界が平和でありますように」と書きました。（修）

今回の特集はいろんなことを感じながら取り組みました。まず、わたしたちは知らなければいけません。そして、自分の心で感じ、自分の言葉で語らなければいけません。これはとっても勇気のいることであり、そして相手を思いやることでもあるように思います。（和）

